

岡山県総合文化センターニュース

県内図書館めぐり Part 久世町立図書館



久世町は、中国横断・縦貫自動車道のクロスポイントとして、発展を目指しています。そして、「人づくり・夢づくり・都市づくり」を目標に大型プロジェクトを推進中です。その中で、平成九年四月に情報・文化・交流拠点として、旧遷喬小学校・NHK（有線TV局）・久世エスパスセンターなどを含めた、久世エスパスランドが形成されました。図書館は、センター内二階に新設され、ワンフロア（約六〇〇㎡）の狭い中で、書架と読書・雑誌・畳・AVコーナー等を設けています。昨年七月からは、町外利用者貸出を始め、近隣町村の方々の利用が増えています。蔵書の特徴としては、中国五県の市町村史（約四〇〇冊）を収集しています。二年目にしてようやく定期的な絵本の読み聞かせや季節的に映画会、講演会などを開催し、少しずつでも親しみ易い雰囲気づくりに努めています。生まればかりの図書館なので、課題は山積していますが、今、絵本の子供たちが、そのまま一般書に手が伸びるようロングスパンで取り組み、利用者と共に成長していきたいと考えています。

所在地 〒七一九 三三二 四
真庭郡久世町大字鍋屋一七

電話 ○八六七 四二 七二〇三
FAX ○八六七 四二 七二〇四
蔵書冊数 約三一、〇〇〇冊
貸出冊数 約三五、〇〇〇冊
（町民一人当たり約二・九冊）



年頭にあたって

館長 井上真澄

あけまして

おめでと〜ございませう。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆様の御多幸をお祈りいたします。昨年中は、文化センター振興に格別の御尽力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

卯年の年頭にあたり、昨年の活動の中、新県立図書館建設に向けての動きを御報告し、新年の課題について述べたいと思います。

平成十年六月、建設候補地として、「岡山市立丸之内中学校跡地」が決定。敷地の広さ、交通の便、周囲の環境等、建設地として適切な場所であるとの多くの方々の御声援を頂いているところです。

九月、基本構想策定委員会（谷口澄夫委員長）より、「県民のニーズに即応した二十一世紀にふさわしい岡山県立図書館の在り方」についての答申が、教育長に示されました。

答申の内容は、
一、資料保存センターとして、図書換算二〇〇万冊程度の収蔵能

力を持った書庫スペースを確保すること。

二、吉備文化資料・交通文化資料を重点的に収集すること。

三、レファレンス資料の充実を図り、主題別部門制を取り入れること。

四、岡山情報ハイウェイを活用しメディアセンターとして県内外への多様な情報の受発信基地となること。

等が特徴となっております。

その後、答申への県民の御意見をアンケート方式で調査し、図書館関係者、利用者の方々の御意見を幅広くお聴きし、目下基本計画策定中であり、平成十一年三月には、まとめられる予定であります。

さて、以上のような十年の動きから、十一年は、図書館としての平常業務と並行しながら、新館に向けて、大きく次の三つの課題に取り組んでまいります。

一、資料の蓄積に向けて

答申では、「県民からのあらゆる資料要求に応えるため、また、

市町村立図書館のサービス活動を支えるため、多様な資料を幅広くかつ系統的に収集する。開架スペースの収蔵能力は三〇万冊程度とする。新館開館に向け必要な資料の計画的整備を図る。」と述べられています。

特に、各主題別部門の図書の実、変化の著しい分野の基本図書や参考図書の更新、新しく始める児童・AV・電子資料の整備、情報源として価値の高い逐次刊行物の拡大・充実等について、開館までの緊急整備計画、開館後の整備計画の作成が急務となります。

二、主題別部門制に向けて

サービス計画の中で、「館内の図書・資料配置及びレファレンス・サービス（調査・研究の援助）の提供体制は、原則的に主題別部門制を取り入れる。」とあります。主題別部門については、一般参考部門、人文科学資料部門、社会科学資料部門、科学技術資料部門、岡山県関係資料部門、児童資料部門の六部門です。

特定の主題に関する調査・研究に対し、一箇所に集められた資料と、主題に精通した職員によって質のよいサービスを提供するというものです。

人々が地域の図書館を通じて、また、直接来館して調査・研究の

援助を受けられるよう、レファレンス体制を充実することは大きな責務であり、特に科学技術や児童の分野に精通するための研修体制づくりが急務となります。

三、図書館ネットワークに向けて

基本的性格の項で、「県立図書館は、県内の公共・大学・学校図書館等をはじめ、国立国会図書館や他県立図書館等との連携と協力をともにネットワークを確立し、県域における図書館組織の中核となる。」ことが求められています。

図書館におけるコンピュータ・ネットワークの利用は、利用者にとつて、県内における情報入手の地域格差を減少させる有効な手段であります。資料提供を迅速・確実に行うためには各種データベースの作成と共に、オンラインネットワーク・物流ネットワーク・人的ネットワークの構築が必要であり、県内図書館の共通理解を図りながら取り組むことが急務となります。

以上、十年来の念願実現のため、課題解決に取組み、あわせて、図書館移転後の文化センター利用計画について、将来を展望していきたいものと、職員一同張り切って新年を迎えました。

皆様方の一層の御支援・御指導を賜わりますようお願い申し上げます。

「現代作家の眼」展を終えて

本年度の主催展、《アートウエーブ岡山・洋画選抜》巡回展は、津山市立図書館展示ホールを会場に十一月十一日(水)から十一月二十日(金)まで開催いたしました。中央画壇等、第一線で活躍中の県を代表する洋画家四十七人の力作が並び、会場を訪れる鑑賞者に強いインパクトを与えた展覧会となりました。また、この「洋画選抜展」は、十一月二十二日(日)から十二月六日(日)まで高梁市歴史美術館にも巡回し(高梁市主催)、多数の鑑賞者が訪れました。

今年度の「現代作家の眼」展は、十月に開催したアートウエーブ岡山・彫刻選抜展とアートウエーブ岡山・洋画選抜展の二つでしたが、それぞれ地域の芸術・文化の普及振興に役立つことができたとおもいます。ありがとうございました。



洋画選抜展会場

おかやま人物往来 ④

やぎじよつげい
八木浄慶



備前孝子伝

和気郡八木山村の浄慶は、備前孝子伝(全五巻)の第一巻の最初に紹介される。

同書は湯浅新兵衛明善が岡山藩領の孝子や忠臣、義士、貞女などを紹介した著作で、寛政二年(一八九〇)に岡山藩の若殿池田斉政に献呈され、翌年には幕府の老中首座松平定信と勘定奉行にも献呈されたという。

湯浅明善は漢学者として名高い湯浅常山の子で、岡山藩の町奉行、寺社奉行を勤め、岡山藩にお

ける寛政改革の中心人物として知られる。このように考えると『備前孝子伝』は封建社会の支配層が求める理想的な人間像がどのようなものであったかを知る格好の歴史資料であるといえる。登場する人々は実在した人々である。

八木浄慶は八木山村(備前市八木山)に住んでこの地に産する蠟石で仏像を造ることをなりわいとした。備前市内の光明寺・真光寺・正楽寺などに伝来する大日如来坐像、大滝山実相院の虚空蔵菩薩像などが浄慶作として知られている。

浄慶は三石地方の蠟石の発見者と伝えられる。この地方の蠟石は浄慶石・八木山石・焼山石などと呼ばれて石筆用に採掘されていたが、近代工業が発展すると、耐火煉瓦・クレイ・製紙などにも使われるようになった。

『備前孝子伝』によると、浄慶は親孝行の志篤く、慶長七年(一六〇二)岡山藩主池田忠継の父輝政がこれを聞いて浄慶を賞誉し、年貢を代々免除することにしたが、慶長一八年(一六一三)輝政が没したことを聞いた浄慶は白石(蠟石)で輝政の像を刻み、朝夕これを拝礼して輝政の恩に報いたという。また、死に臨んで、その子八

木左衛門に僧となつて輝政の像を祭祀するよう遺言したという。浄慶の死後、左衛門は父の遺言に従い、出家して浄慶と名乗り輝政像を祭祀することにしたが、母への孝心が篤かったことから、時の藩主池田光政がこれを聞き、「お前

が出家して子孫が断たれるのは親への不孝のはじまりである。輝政の像を祀る者も絶えることになる」と諭したところ、浄慶が悔い改めたので、光政は浄慶を還俗させて八木左衛門復善と名乗らせ、旧知の六石余りに十三石余を加増して二十石の土地を与え、八木山中に祠を建て、これに輝政の像を納め、浄慶の子孫が代々お祀りしたという。これが八木山の鏡石神社で、池田輝政の像は今も同社の御神体として祭祀されており、『備前孝子伝』にも収められる万

治三年(一六六〇)池田光政から与えられた感状などが鏡石神社の神主八木家に伝来している。

当館では、江戸時代後期に版本として刊行された『備前孝子伝』のほか、浄慶関係の資料を収録した『三石町史』や『和気郡史』(資料編上巻)、浄慶作の彫刻を紹介した『わがまちの文化遺産』などを閲覧することができる。

岡山県読書大会講演要旨 『日本のサルとマダガスカルのサル』

島 泰 三

本日は読書大会ですので、最初に、私に影響を与えた本を少しだけ紹介したいと思います。

イギリス人で、元ロンドン動物園の飼育係をしたジェラルド・ダレルという、もう、お歳の方がおられ、この人にマダガスカルで会ったことがあります。



私が小学生の時代だったと思いますが、暮らしの手帖に連載されていた、浦松佐美太郎が翻訳した「積みすぎた箱舟」という本があります。動物園から依頼を受けたダレル達が中アフリカにアンワンチボというめずらしいサルの仲間を探しに行くという物語で、ダレルという人は、他に、「鳥と獣と仲間たち」という本を書く等、ユーモア作家としてもたいへん有名です。マダガスカルのアイアイについては「ズークエスト」という本の中

で触れていますが、この本は、私の人生を決定するうえで、相当強力な役割を与えたと思っています。

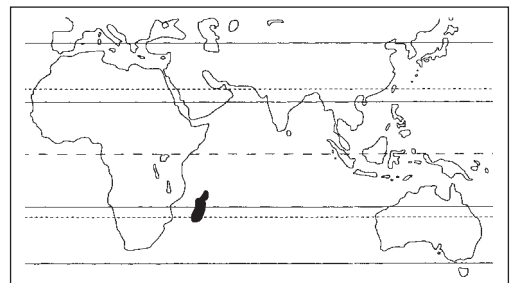
もう一つは、今ちょうど、日本で、エディ・マーフィー主演の「ドクタードリトル」という映画が上映されておりますが、これはヒューロフティングの「ドリトル先生航海記」がもとであり、これを、小説家の井伏鱒二が訳した、非常に流麗な文章の童話です。

ヒューロフティングのドリトル先生シリーズにはいろいろあつて、一番影響を与えたのは、例えば、海の中を渡っていく大きなカタツムリだとか、あるいは人と話をする事ができる動物たちであるとか、流れている島であるとか、そういうふうなものが次々に出て来る、私にとつては、自分の第二の経験になつていくといった本であります。世界中でただ一人動物と話が出来た獣医というのが、このドリトル先生のモチーフなんですが、これに憧れて、高校のはじめ頃からは獣医になろうと思つて準備をしていました。大学に入る時

もそのつもりだったのですが、人類に関する講座なら何でも好きなことが出来る という教授の誘い文句にうかうか乗つてしまつたために獣医になれずにサルの研究者になつてしまいました。ただ、そのときちょうど、三人の動物研究者が同時にノーベル賞をとつたんです。ドイツ人のカール・フォン・フリッシュという人が「ミツバチの言葉」というミツバチの行動学で、そしてコンラート・ローレンツ、ニコラス・ティンバーゲンなんです。動物学でノーベル賞をとつたのは、後にも先にもこの三人だけしかいないんです。

それぞれ、非常に強烈な印象を与えているんですが、なかでもコンラート・ローレンツの「ソロモンの指環」というとても読みやすい本があります。現在、アジア経済研究所で研究員をしているインドの研究者で私の友人の女性がいいますが、私の本を読んで、チヨット宣伝なんです。もしも、もっと短かつたら「ソロモンの指環」に匹敵する名著になつたのならあーと残念がつたくらいおもしろい本であります。

結局「ソロモンの指環」というのは、聖書の中に出てくるソロモ



マダガスカルの位置

ン王の指環ですが、それをはめることによつてあらゆる動物の言葉が分かるというものです。コンラート・ローレンツからしてみれば、動物行動学というのは実は動物の行動について、その行動からその動物の言葉が分かるんだという、そういう宣言だったんですね。これは、小学校のとき読んだヒューロフティングのドリトル先生からコンラート・ローレンツへ一直線に続く道でした。これでノーベル賞が取れるんだつたら、俺もこれでやりたいという風におもいましたが、ノーベル賞はちょっと遠いようですね。

たまたま人類学教室だったので

人の研究をするのかなと思つていましたら、京都大学から西田利貞さん 今 は京都大学の教授で、国際霊長類学会の会長なんです、この方が大学院を卒業してすぐに助手でこられて、サルの研究を指導するようになり、たまたま私は他の学生に比べて体力だけはあつたものですから、山のなかを歩くのに君はちょうどいいじゃないか、飯代だけはみてやるから山に入らないかと言われました。先生から見ればちょうどいい荷物運びができたということなんです、この飯代をみてやるという誘いにかうかとのりまして、以来三〇年間、飯代というのがどれほど重いかというのがよく分かりました。今の若い人は、飯代くらいでは動かないと思ひますが、こうして私はサルの研究を続けてきたのであります。

最初は二ホンザルの研究をずっとやっております。房総のサル、それから、たまたま私の先生である東大の教授の先生、つまり先々代の主任教授が東北大の医学部の教授だった時分に「二ホンザルの分布調査」という全国調査があり、それを私がまとめることになりました。ちょうど七二、三

年、一年間まるまるかけてまとめました。それが非常におもしろかつたので、現在の二ホンザルの分布も同時に調べようということ、で全国組織を作つて七五、六年と調査してあります。

そしてマダガスカルに行くことになりました。それは何かというと、アイアイであり、それは「わくわく動物ランド」という番組でやりたいということからでした。しかし、すでにアイアイは絶滅したと考えられているので、しつぽだけでも撮影できればそれで大成功という「くおおざつぱなことで行つたんですが、一年目は全く失敗し、二年目には成功しました。これが実にとんでもない動物だったものですから、以来それに取りかつてしまった、ということなんです。

以下ビデオにより紹介した内容を抜粋して記述

小豆島の二ホンザル、餌場の中に観光客が入つて楽しめる作りなので、餌がやり放題。人にとつては動物に餌をやるのは気持ちいいし、相手がちょっとかわいければしてしまふが、よいことかどうかは別問題。人との間のストレスと栄養の偏りで、毛が抜けたり太りすぎたりするサルがたくさんい



アイアイ

る。私は野生の猿の研究から始めたから、野生の二ホンザルの毛皮が信じられないくらい美しいことにびっくりしました。春先に木から木になだれを打つて飛んでいくサルを見たときはシーボルトが二ホンザルについて森の妖精だと言つたのは本当だと思つた。

（小豆島の毛の抜けたサルをさして）こういう風になると森の妖精というイメージはわからない。真猿類は人間を含むが、一方原猿類はアジアアフリカに野リス、めがねざるの仲間がいる。圧倒的に多いのはマダガスカル。ワオキツネザルはマダガスカルの猿には珍しく地上性、乾燥地帯、砂漠にすむ猿。マダガスカル中央部は焼けこげた土地が広がる。マダガスカルにはレムール類という原猿類のなかまとバオバブがあるが、マ

ダガスカルには七種類あり、発祥の地ではないか。崖地帯には、世界遺産地域になつているのが石灰岩の台地があり、通行不能となつているが、ここに西海岸で最南端のアイアイがすんでいる。南西部の草原地帯はいつも雲一つない乾燥地帯。南西部のワオキツネザルは、朝起きると何十匹も並んで日光浴をする。代謝が低いので日光浴をしないといけないようだ。ペロシユワ科の中でも乾燥地帯におり、地上にいて、飛ぶ姿が独特なので有名になつた。最初に日本に紹介したのは私たち。

アイアイ、野生のアイアイが豆科の植物を食べている。下顎が丈夫で、削り取つた樹皮のうちがわを食べる。全身像は中指が特徴的。全体三キロくらい胴体五〇センチしつぽ五〇センチ。大きな耳。顎が特にとがっている。それは二本の歯のためだ。永久に成長し続ける歯のため、サルなかりスなのかは永遠の謎。

島泰三氏の著書「どくとるアイアイと謎の島マダガスカル」上・下巻は貸し出し可能です。

外国語資料紹介

Please to the Table: The Russian Cook Book (by Anya von Bremzen/Workman Publishing/1990)

「Please to the Table」は、ロシアで御馳走をもてなす言葉。この書は、ロシアをばじめウクライナ・アルメニアなど、それぞれの地方の風土・文化にふれながら、民族料理のレシピ四百あまりを紹介している。料理好きな人も、旅行好きな人も、一度手にとっていただきたい本。



Global Warming (by John Houghton/Cambridge University Press/1997)

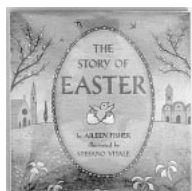
この書は地球温暖化について、主に学生を対象にわかりやすく解説されたものである。「どんな地球を私たちの子孫は受



けついでいくのか」という大きなテーマのもとに、著者ホートンが各章で問題提起をし、論点を明確にしながら、読者自身の考えが導きだせるような構成をとっている。

The Story of Easter (by Aileen Fisher/ill by Stefano Vitale/HarperCollins Publishers/1997)

「冷たい冬が終わり、鳥が歌いはじめ、草花が地上に新しいカーペットをつくりはじめ、春」に、イースター（復活祭）はやってくる。人々はキリスト復活と春の再来を歓迎して祝福。この絵本は、イースターの意義、イースターエッグやイースターバーニーなどのいわれをやさしい言葉で説明している。



明るく温かいイラストは、イースターのイメージを一層喜ばしいものにしてている。著者アイリーン・フィッシャーは、「The Big Book of Holiday Plays」など児童向けの劇や詩を多数手がけている。

うちの当館の参考図書 100

個人コレクション 美術館博物館事典（日外アソシエーツ 一九九八）



「どこかにテイベアを集めた博物館はあるか？」岡田茂吉の

創った美術館はなんとという美術館か？」このような質問に応じることができるのが本書である。

ここでは、個人コレクションを主体に設立され、一般公開している全国百八十五館の美術館・博物館を収録している。各館については、館名、概要、展示、収蔵、開館時間、入館料等の基本事項を掲載。排列は、都道府県別に館名の五十音順になっている。

巻末の索引は、「館名索引」の他に、「コレクション・コレクター索引」があり、各館が収蔵する作品からも検索できるので大変便利である。

日本政党史辞典 一八六八年～一九八九年 全三巻（村川一郎編 著 国書刊行会 一九九八）

「政治」に関する辞典は数多く出版されているが、本書はその政

治を動かす「政党」に関する辞典である。上・中・下巻の全三巻から成る。

主に上巻で、政党史、政党一覽、党則といった政党に関する解説を行い、中・下巻はむしろ資料的な役割が高く、衆参両議員総選挙当選者一覽や、国会、内閣、人物に関する資料を掲載している。日本の近現代史、政治史の研究に役立つ一冊である。

調理の基本大図鑑ピストロ・マルシェ（講談社 一九九八）



本書は、あらゆるジャンルの料理を、食材別・調理法別に分類して紹介した本格的な料理書である。取り上げた料理は、和・洋・中・エスニック等六百五十点におよぶ。

全体は、魚介・肉・野菜といった食材に分類され、さらにその中を「調理の基本」と「逸品料理集」の二章に細分している。

題名に「調理の基本」とあるように、特に調理法については、カラー写真によってその基本をわかりやすく、いねいに解説している。見た目にも楽しい一冊である。

随

想

書道という楷書の語源もこの木にちなんで名付けられたと言われております。

特別史跡「旧閑谷学校」の校門（鶴鳴門）を入ると、正面の聖廟に登る十九段の石段があり、その左右の斜面に一对の「楷の木」がこんもりとした枝葉を大きく広げています。

いずれも、幹回り一メートル余り、高さ十二、三メートルの巨木であります。

この楷の木は、中国原産のウルシ科の落葉喬木で、学名は「ピスタチア・シモンシス・ブンゲ」。漢名を「楷、楷樹、黄連木、黄連樹」。別名「トネリバハゼノキ、ランシンボク」。和名は「孔子木、孔子の木、楷の木」などと呼ばれています。

葉の生じ方や枝振りが直角に整然としていることから、樹木の手本になる木として賞ばれ、儒学の祖、孔子が亡くなった時に弟子の子貢が、人間尊重と人格形成を説く孔子を偲んで墓所に植えられたものであります。



「楷の木の話」

福田 直之

この楷の木が、我が国に持ち込まれたのは、大正四年（一九一五年）のことで、当時の農商務省林業試験場長を務められた林学博士白澤保美氏が、中国山東省曲阜にある孔子廟の墓上を覆っている楷樹の種子を持ち帰り、播種・育苗されたのが最初であります。

その後、大正十一年（一九二二

備前焼の瓦を葺いた国宝である講堂の屋根の反り、聖廟を囲む白壁の練塀など、その景観は、一幅の絵を見るように美しく実にすばらしいものであります。

閑谷学校のシンボルでもある二本の楷の木に今までついたことのない実が枝いっぱいになり話題になっております。

いずれも雌の木で、これまでは実がつきませんでした。特に向って右側の木にたくさんの実がなりました。

球状倒卵形で、直径五、六ミリ先端は、やや尖っており、始め緑色で後に緋色から紫色になり、綿棒のような形で枝の先についています。

平成三年、当センターが移転、新築され、その際、玄関前に二本の楷の木を記念植樹、さらには、周辺にも植樹されており、新しい木の中に雄の木があり、受粉したのではないかと思われま

す。この実を大事に育て、閑谷学校楷の木の二代目誕生を心待ちにしているところであります。

（青少年教育センター閑谷学校所長）

友の会だより

一九九九年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は、友の会の活動の充実のために、種々の行事へ御参加いただきありがとうございました。新春の展覧会招待事業「院展」はいかがでしたでしょうか。

本年も友の会をますます発展させるために御支援、御助言をくださいますようお願いいたします。また、積極的に行事へ参加していただけますよう、事務局職員一同お待ちしております。

さて、今年度も「友の会作品展」を二月下旬に行う予定です。詳細については、次回二月号で御連絡いたします。

作品は、会員の方が描かれた絵画・スケッチ・写真・書などジャンルを問わず幅広く募集いたします。皆様の力作をお待ちしております。（額装は8号程度までとします。）



平成11年

2月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー

期 日	催 物	入 場 料	主 催 者	展 示 室
2 / 2 ~ 2 / 7	ノートルダム清心女子大学卒業制作展	無 料	ノートルダム清心女子大学 児童学科美術研究室	第1展示室
	中国デザイン専門学校卒業制作展	無 料	中国デザイン専門学校	第2展示室
2 / 9 ~ 2 / 14	第66回独立展(巡回展)	700円 老人・会員無料	岡山独立美術協会	第1展示室 ・ 第2展示室
2 / 16 ~ 2 / 21	第129回県下小・中学校習字(書初め)展覧会	無 料	岡山県習字教育研究会	第1展示室
	第43回岡山市教職員美術展	無 料	岡山市教職員美術展運営委員会	第2展示室
2 / 23 ~ 2 / 28	第16回岡山県現代俳句の書展	無 料	岡山県近代詩文書作家協会	第1展示室
	第3回川崎医療短期大学医用デザイン展('98卒業制作展)	無 料	川崎医療短期大学医用デザイン科	第2展示室

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	入 場 料	主 催 者
2 / 7(日)	子ども劇場例会 「あの日はNHK編」	14:30~16:00	大人・小人共 2500円 前・当共	岡山県子ども劇場協議会 (岡山市ブロック)
2 / 20(土) 21(日)	第299回文化センター土曜劇場 岡山ろう者劇団「夢二」公演 瓜子姫とアマンジャク	18:00~ 13:00~	前1200円 (子供500円) 当1500円 (子供700円) 会員 無料	岡山県総合文化センター
2 / 25(木)	ますかっ と 寄 席	18:30~20:30	前2000円 当2300円	初春岡山わらおう会 (笑福亭猿笑)

会員...文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。



「蔵書検索システム」公開のその後
岡山県総合文化センター所蔵和図書約三十万件のデータ検索システムを、インターネット上で提供して一ヶ月がたち、その間のアクセス件数が千三百件を数えました。

このシステムは、二十四時間稼働しており、利用者に対して時間・空間の「壁」を越えてサービスを提供できる点で現代情報化社会のニーズに対応できるものであり、「千三百件」という数字は、その利用価値を多くの方に受け入れられたことを示すものと認識しております。

現在は、外国資料、雑誌、新聞等の検索はできませんが、利用者の方のニーズに添えていくために、機能拡張に力を尽くしていきたいと考えております。

また、小・中学校図書室、高等学校図書館における教育的活用の方策についても関係各位と連携を深め、活用方法を検討していきたいと考えております。

検索システム及びホームページについての皆様からのご意見をお待ちしております。

libnet@libnet.pref.okayama.jp